

第15回全日本中学生男女ソフトボール大会に協賛

全国餅工業協同組合は、2015（平成27）年8月8日（土）～10日（月）に大阪市此花区の舞洲運動広場で開催された「全日本中学生男女ソフトボール大会」に3年連続で協賛しました。



大会には日本全国から女子48チーム、男子15チームが集結。連日、高温注意情報が発令されるなど例年を上回る過酷な環境の中でトーナメント形式の激戦が繰り広げられ、男子は「熊本オールスターズ」、女子は「福岡レッドドリームズ」が共に初優勝しました。



全国餅工業協同組合では、特設ブースを設けて出場全チームの選手や監督への切り餅セット（包装餅、冊子、特製うちわ）の配布、応援に駆けつけた方々へのサンプリングなどを通して、国内産水稲もち米100%で作られた包装餅のプロモーション活動を行いました。

昨年に引き続いて全国大会に駒を進めた常連チームの姿もあり、その父兄から「去年、ここで配られたお餅を子どもたちに食べさせたら試合に勝ったので、今年も験を担いで食べさせるよ」という嬉しい言葉も頂きました。



お餅は“縁起がいい”食べ物であるとともに、灼熱の中で試合を勝ち抜くためのスタミナを維持するエネルギー源としても重要です。大会前日に行われた開会式でお餅を活用したカーボローディング効果について紹介したことから、サンプリング時に選手や関係者の方が足を止めて話を聞いてくれたり、パネルの前に立ち止まるなど、お餅への関心をさらに高めて頂くことができました。



この大会への協賛も3年連続となり、出場全チームへの切り餅の配布や「おもち大明神」のおみくじ&記念撮影は、選手たちだけでなく父兄や審判など大会関係者の間でも恒例のものとして、温かく迎えられています。

